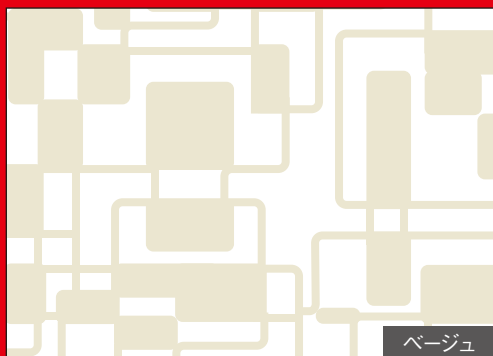


加飾けい酸カルシウム板 天井材
ハイラック天飾



イメージ図

塗装不要のハイラック天飾に 新柄「かさ重ねます柁」が登場!



ベージュ



グレー

ビス頭が気にならず柄の位置合わせも不要です

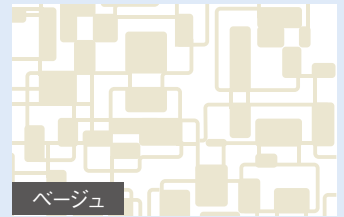
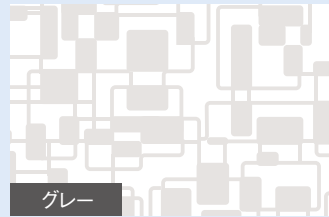
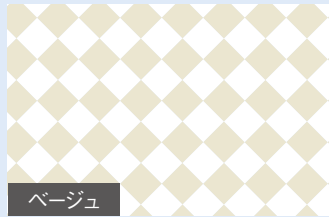


大規模な天井の施工に



※水掛かり部(外周部)の現場塗装を併用しています。

「重ね枀」柄が増えて、色・柄が4種類に!



はすごもく
斜碁目柄(スタンダードな柄です)

かさ ます
重ね枀柄(ビス頭が気にならず柄の位置合わせも不要です)

※実物スケールとは異なります。
※実物の色味と多少異なる場合があります。

施工工程



下地材・軽量鉄骨施工



留め付け



塗装養生・現場塗装(不要)

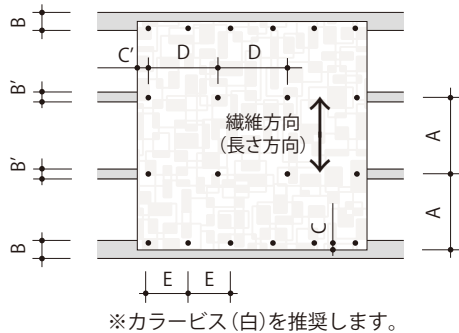


工程が少なくなるので

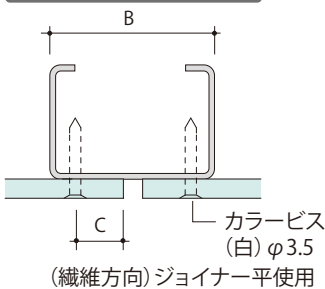
- 経年変化で起こる塗装はがれが少なく、駐車場の天井にも安心してご使用頂けます。
※けい酸カルシウム板の直張り天井仕上げの為、水掛かり部の箇所は避けてください。
- 現場施工の省力化・工期短縮を図り、特に大規模な天井施工に使用することでコストパフォーマンスに優れます。また改修工事にもおすすめします。

材料費も人件費も
コスト減!

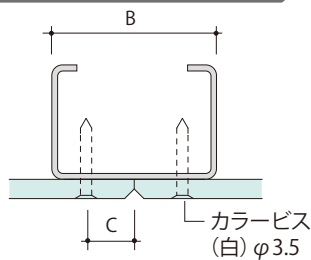
取り付け下地間隔および留め付け金具間隔



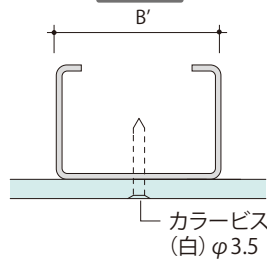
目地部(目すかしの場合)



目地部(面取り突き付けの場合)



一般部



- ※軒天井の下地は、ボードの繊維方向と直交して施工してください。
 ※留め付け時のビス廻り割れを防ぐ為、板端部、特に四隅部は予め下孔を開けてください。

(単位:mm)

製品名	厚さ	下地間隔		下地見付け幅		留め付け金具間隔			
		A	B	B'	C	C'	D	E	
ハイラック天飾	6	303 ↓	50 ↑	25 ↑	15 ↑	25~30	303 ↓	150 ↑ ~ 200 ↓	

↑以上 ↓以下

不燃認定番号	NM-4219
表面	フレキシ印刷用インク
基材	ハイラック (0.8けい酸カルシウム板)
厚さ(mm)	6
幅×長さ(mm)	910×910(面取りなし)※1
標準質量(kg/m ²)	5.6※2
かさ密度(g/cm ³)※3	0.70以上 0.90未満
曲げ強さ<タテ> (N/mm ²)	10.0以上
曲げヤング率<タテ> (N/mm ²)	6×10 ³
吸水による長さ 変化率<タテ>(%)	0.15以下

※1 面取り加工品は受注生産

※2 標準質量は製品含水率などを考慮した標準値です

※3 試験方法はJIS A 5430に準拠

●留意・禁止事項

●設計上の留意事項

- ▲ 推奨された用途以外には使用しないでください。(けい酸カルシウム板の直張り仕上げの為、軒天などで水掛かりの箇所は避けてください。)
- ▲ 高温、高温等特殊な条件での使用は、避けてください。
- ▲ 柄付けはフレキシ印刷(版ロールで連続印刷)し、長さ切断している為、柄位置を同じ位置に合わせることはできませんのでご了承ください。
- ▲ 表面に黒い点が若干見受けられますが、天井に仕上げた状態では支障ありません。

●運搬、保管上の留意事項

- ▲ 直射日光・雨の当たる場所・湿気の多い場所では、保管しないでください。
- ▲ 地面に直置きせずパレット積み又はりん木を介し、やむを得ず外部に仮置きする場合は養生シートで覆ってください。
- ▲ 衝撃を与えたり荷姿を崩す事のないよう丁寧に扱ってください。
- ▲ 保管時には製品の上に乗らないようご注意ください。
- ▲ 長期保管の場合はりん木を使用せず、パレット等平滑面へ積み上げてください。立てかけ保管は変形の原因になりますのでご注意ください。

●施工上の留意事項

- ▲ 表示された標準施工要領に従って正しく施工してください。材料自体にねじ等の保持力がありませんので、下地材以外への留め付けをしないでください。
- ▲ ハイラック天飾の施工は、直張り仕上げの為、汚れのない手(軍手)で行ってください。
- ▲ 表面に物が当たったり擦ったりすると、目立つキズ、テカリを生じることがありますので、取り扱いに注意してください。
- ▲ 万一のビスクラックによる破損を防ぐ為、取り付け位置で四隅等は予め留め付け金具より1mm程度大きい下孔を開けてからワンタッチビスで留め付けることを推奨します。
- ▲ ワンタッチビス取り付けの際に発生した製品屑、ほこり等はきれいな柔らかいウエス等ではうろ程度で取り除いてください。(強く擦ったりしないでください。)

●安全衛生上の留意事項

- ▲ 高所作業では必ず安全対策を行ってください。
- ▲ 電動工具を使用して切断する場合は、必ず集じん装置付を使用してください。
- ▲ 切断加工等を行う場合は、防じんマスク・保護メガネなどの保護具を着用してください。取り扱い後は、うがい・手洗いを励行してください。
- ▲ 天井施工後、その上に乗らないでください。